


第10回 みやぎ小・中学生いじめ防止動画コンクール入賞作品一覧

 <p>【最優秀賞】 加美町立宮崎小学校 6年生</p>	<p>「たった一言で」</p> <p>言葉には力があります。言葉で人を励ますことも、勇気付けることもできます。しかし、言葉は人を傷付けてしまうこともあります。私たちは、言葉の持つ力のその両面に目を向けることが必要だと考えました。</p> <p>互いに優しい言葉を掛け合うことができれば、互いに気持ちよく過ごすことができると思います。「たった一言で」元気になれる、笑顔になれる、みんながそんな優しい気持ちでいられたらいいなという願いを込めて制作しました。この気持ちをたくさんの人に届けたいです。</p> <p>「ふみ出してみようよ、その一言」</p>
 <p>【優秀賞】 岩沼市立玉浦小学校 児童会</p>	<p>「あったか言葉で、あたたかい学校を」</p> <p>いじめのない、一人一人の命を大切にするためには、日頃の生活、日頃の関わり合い方が大切です。そのために、玉浦小学校では「言葉」を大切にしています。言葉は、だれかをあたたかくするプレゼントにもなれば、だれかを傷つけるナイフにもなります。だからこそ、あったか言葉を広げ、言葉の大切さを学校全体で共有する取組を行っています。ともに喜び、ともに励まし、悲しんでいる人がいれば寄り添い、あったか言葉を掛け合いながら、みんなであたたかい学校をつくっていきたいです。</p>
 <p>【優秀賞】 石巻市立石巻中学校 いじめ撲滅・防止委員会 ブルースター</p>	<p>「いいところ発見機」</p> <p>私たちブルースターは石巻中学校からいじめを撲滅するために活動している有志団体です。</p> <p>今回の動画制作では相手の良いところに気づき、いじめをなくそうというメッセージをつめました。</p> <p>この作品を見る人たちに、一人一人良いところがある、私たちはそれに気づいているよということや、見方を変えるだけで友達のよさが見えてくるんだよということを伝えたいです。</p>

 <p>【優良賞】 名取市立ゆりが丘小学校 6年</p>	<p>「見て見ぬふりをしないために」</p> <p>私たちが訴えたいことは、「いじめかも」と感じたことを見て見ぬふりをしないということです。いじめを生まない学校はどんな学校かということ、3から6年生が参加する代表委員会で話し合いました。その結果、助け合いや声をかけ合うことでいじめが生まれない学校になるということが話し合われました。助け合いや声のかけ合いが生まれる学校になれば、いじめが生まれなくなると思っています。</p>
 <p>【優良賞】 川崎町立富岡中学校 生徒会</p>	<p>「おはよう！」</p> <p>この作品を通して訴えたいことは、「見て見ぬふりをしないで挨拶など声をかけ合うことでいじめ防止につながる」ということです。いつも一人で過ごしている子も本当は、友達と話したいと思っていてもそんな勇気がない。それは周りで友達と話している人も同じ。でもそれが実はいじめにつながることになるかもしれません。誰か一人でもその子に声をかけたり、駆け寄ることによって今まで見ていた世界ががらっと変わると思いました。この動画をきっかけに、今まで出せなかった勇気を出して「おはよう！」の一言からでも声をかけてみたりするだけでも一歩前進だと思います。</p>
 <p>【優良賞】 松島町立松島中学校 生徒会</p>	<p>「星に個性を、輝きを」</p> <p>今年の松島中学校の生徒会スローガンは、「天の川～つながれ 輝く彩りの星」です。</p> <p>松中生を「星」として表現しています。そのため、サブテーマの後半にある「輝く彩りの星」には松中生のそれぞれの個性や想いをカタチにして表現してほしいという思いを込めました。また、サブテーマの前半の「つながれ」には、生徒それぞれのつながりや学校の枠をこえたつながりを大事にしてほしいという思いを込めました。つまり、「天の川」には、松中生を表す無数の星が協力し、つながることで、松島中学校という名の「天の川」を完成させたいという思いが込められています。</p> <p>今回、全校生徒で生徒会スローガン制作を行いました。1人1人が星に今年輝きたいことを書き、生徒の思いや願いが込められた星をつなげて「天の川」を表現しました。全校生徒が一丸となって、お互いの思いや願いを認め合い、応援し合える生徒会を実現していきたいと思っています。</p>

 <p>【佳作】 栗原市立鶯沢小学校 6年生</p>	<p>「元気に仲良く助け合おう」</p> <p>鶯沢小学校では、毎年児童会のスローガンを立てています。</p> <p>今年のスローガンは、「元気に仲良く助け合おう」です。このスローガンに向かって、全校77人が様々な行事や毎日の生活をがんばっています。今回、いじめ防止動画コンクールの作品について考える中で、鶯小のスローガンは私たちだけのものではなく、宮城県内のたくさんの学校でも大切なことではないかと考えました。そこで、ちくちく言葉を減らし、ふわふわ言葉を増やすことで、優しさで心をいっぱいにするれば、みんなが元気に仲良く過ごせて、いじめを防止することができると考えて、この動画を作りました。</p>
 <p>【佳作】 南三陸町立伊里前小学校 児童会</p>	<p>「いつでもスマイル みんなでGO！」</p> <p>あいさつは人と人の心をつなぐ役割があると思うので、どんなときでも相手に届く挨拶をしたいという思いをこめました。また、毎日みんなの笑顔とやさしさで包まれるような学校生活にしたいと思いました。そのためには相手を思いやり、ありがとうがいっぱい聞こえる学校にしたいと思い、この作品を考えました。</p>
 <p>【佳作】 仙台市立台原小学校 いじめ防止動画製作委員会</p>	<p>「安心な毎日をつくろう！」</p> <p>2週間、毎日、休み時間を使って話し合いました。私たちが注目したのは、「無自覚ないじめ」です。これは、私たちの日常にたくさん起きています。誰にでもいじめの加害者・被害者になる可能性があります。私たちが願う「誰もが安心して過ごせる学校」の実現のためには、無自覚ないじめを早期解決する取組が必要だと考えました。</p> <p>日頃から「いじめはダメ」「やめよう」と声掛けしても、相手のいやな思いに気付けない限り、無自覚ないじめの防止にあまり効果はありません。しかも私たちは、本当はいやなのに、相手に「やめて」と言えないことも少なくありません。「思いを尊重し合いながらたくさんコミュニケーションをとる」ことが当たり前になるようになるまで、このメッセージを伝え続けていきたいです。このCMをきっかけにして、一人一人が考え、行動していくことを願っています！</p>

 <p>【佳作】 大和町立宮床中学校 生徒会執行部</p>	<p>「言葉の折り方」</p> <p>私達は日々、言葉を書いたり話したりしていますが、受け取る相手が悲しまないように考えてから伝えているでしょうか。題名の「言葉の折り方」という表現には、言葉をどんな形に折るのか、つまり、どんな形で伝えるのかをよく考えてほしいという思いが込められています。言葉そのものを紙に例えると、人を傷付ける言葉はぐしゃぐしゃな形をしたイメージです。もし誰かがそれを投げつけられていたなら、紙を広げて優しい形に折り直してあげてください。また、それ以前に一人一人が言葉をどんな形で渡すのかを意識して発言できるようになると、言葉のいじめはなくなっていくのではないかと思います。言葉の形は変えられるからこそ、素敵な形に折ってほしいと願っています。</p>
 <p>【佳作】 富谷市立日吉台中学校 生徒会</p>	<p>「踏み出す勇気にエールで応える」</p> <p>クラスや学年の代表を選出する場面では、なかなか自分から声をあげることができない人もいます。私たち日吉台中学校生徒会では、今年度「プラス思考」をテーマに掲げて活動しています。</p> <p>やってみたいのに勇気がでない、自分がやりたいなんて言ったらみんなに笑われるかも・・・といった気持ちを持ってしまって新しいことにチャレンジできないなんてもったいない。そんな人にこそ手を挙げてほしい。そのサポートができる生徒会でありたい、という願いを込めて作成しました。</p>
 <p>【佳作】 仙台市立寺岡中学校 生徒会</p>	<p>「傍観者X」</p> <p>いじめがあると分かっているけど、行動に移せずいじめを見て見ぬふりする「傍観者」がいることもいじめにおける大きな課題です。現実によくあるような気づきにくく、見逃しやすいいじめというコンセプトで制作し、いじめの様子はあえて分かりづらくしました。いじめに気付いているが行動に移せない傍観者視点にしたことで、この動画を見た人の意識を変えられるように作りました。最後の問いかけで、視聴者に当事者をもたせる工夫をしました。私達が伝えたいのは「傍観者」にできることは本当はないのかということです。</p>